

山口議員 9 月議会で 7.24 集中豪雨の被害対策 や 学校給食のアレルギー-対応などの一般質問を行いました！

福岡市議会の 9 月定例会は、9 月 10 日から 18 日まで審議されました。今回の議会では先の水害に対する質問が多く出されました。中でも山口議員は東区西部地域の多々良川水系の被害状況を糺し、須恵川の未整備で甚大な被害が発生したと指摘。松田・原田・多の津・多々良地区の改善を要求しました。



今回 被害がひどかった須恵川と
いまだ積まれたままの土のう

九州北部集中豪雨・被害状況 H21/7/24

時間最大雨量 (116mm) 3 日間の総雨量 (517mm)
福岡市全体 床上浸水 250 世帯 床下浸水 784 世帯
(東区内) 床上浸水 52 世帯 床下浸水 280 世帯
被害地域・筈松 1 丁目、松田 3 丁目、原田 1・2・4 丁目
(東区) 多の津 1・5 丁目
※須恵川は堤防より約 20cm の高さで氾濫

一般質問に立った山口議員は次の 3 点について市の姿勢を質しました。

- ① 7・24 九州北部集中豪雨被害における東区西部地域の状況について
- ② 学校給食における食物アレルギー対応食の提供について
- ③ 水道事業の収支計画と節水について



アレルギー生徒の食器には学校名
と生徒名が記入されています

①では、土のうの今後の整備方針を示す。また県との協議をしっかりと行う。避難所も地域住民の要望を十分に尊重しながら安全性利便性のある場所を選ぶ。
②は、今後の給食センター建て替えに際し、アレルギー対応食もできるように検討整備するとの教育長・市長答弁がありました。
③水道料金を今後 10 年間は、値上げしないで済む見通しで、節水キャップも学校の実験で費用が安くなる実証がなされたので今年度 10 校に設置し、計 13 校になる。他の公共施設でも節水に取り組む、との回答がありました。
(2 面へ続く)

